

平成29年度進行管理・評価シート
磐梯町歴史的風致維持向上計画（平成28年1月25日認定）
（最終変更平成29年6月9日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画の実施に向けた推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	-
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 史跡慧日寺跡整備事業	2
2 歴史的建造物保存事業	3
3 歴史的文化遺産調査事業	4
4 まちづくり団体設立・育成支援事業	5
5 伝統文化財継承事業	6
6 磐梯町景観計画策定事業	7
7 歴史的まちなみ整備事業	8
8 慧日寺門前市整備事業	9
9 花川自然石護岸及び水路改修事業	10
10 史跡慧日寺跡へのアプローチ整備事業	11
11 史跡慧日寺跡活用事業	12
12 歴史的資源周知サイン整備事業	13
13 磐梯町の文化財を紹介する冊子とマップ作成事業	14
14 文化遺産に関する総合的な情報発信事業	15
15 歴史を活かしたまちづくり推進事業	16
16 歴史的風致紹介ガイド育成事業	17
17 広域連携推進事業	18
18 歴史まちづくり推進機構の設立	19
19 磐梯町歴史文化読本作成事業	20
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の修復・整備に関する取組み	21
2 文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組み	22
3 文化財の周辺環境の保全に関する取組み	23
4 文化財の防災に関する取組み	24
5 文化財の保存及び活用に活用の普及・啓発に関する取組み	25
6 埋蔵文化財の取扱いに関する取組み	26
7 住民、NPO等各種団体の状況及び今後の体制整備の取組み	27
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 仏都会津の中心再生 風情感じる発祥の地に 他	28
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 史跡慧日寺跡を活用したイベントの実施	29
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	30

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
計画の実施に向けた推進体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載
している内容

本計画の推進体制は、「政策課」が事務局となり、庁内各課で組織する「磐梯町歴史まちづくり庁内推進会議」において計画推進を図り、庁内の連絡調整を行うものとする。また、国、福島県等の関係機関との協議を行うとともに、相談や支援を得る。

歴史まちづくり法第11条に基づき設置した「磐梯町歴史的風致維持向上計画推進協議会」は事務局と連携し、計画の実施に関する協議、連絡調整を行う。なお、必要に応じて文化財所有者、管理者や文化財等の保存活用を行う町民、関係委員会や団体と連携し、支援を行う。

史跡慧日寺跡調査・保存・整備指導委員会においても、区域内の一体的な整備のため、まちづくりにおける情報共有や助言・指導を仰いでいる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

町組織改編により、政策課が事務を引き継ぎ、歴史まちづくり庁内推進会議(随時)で事業の実施に係る調整、情報収集、進捗管理を行った。

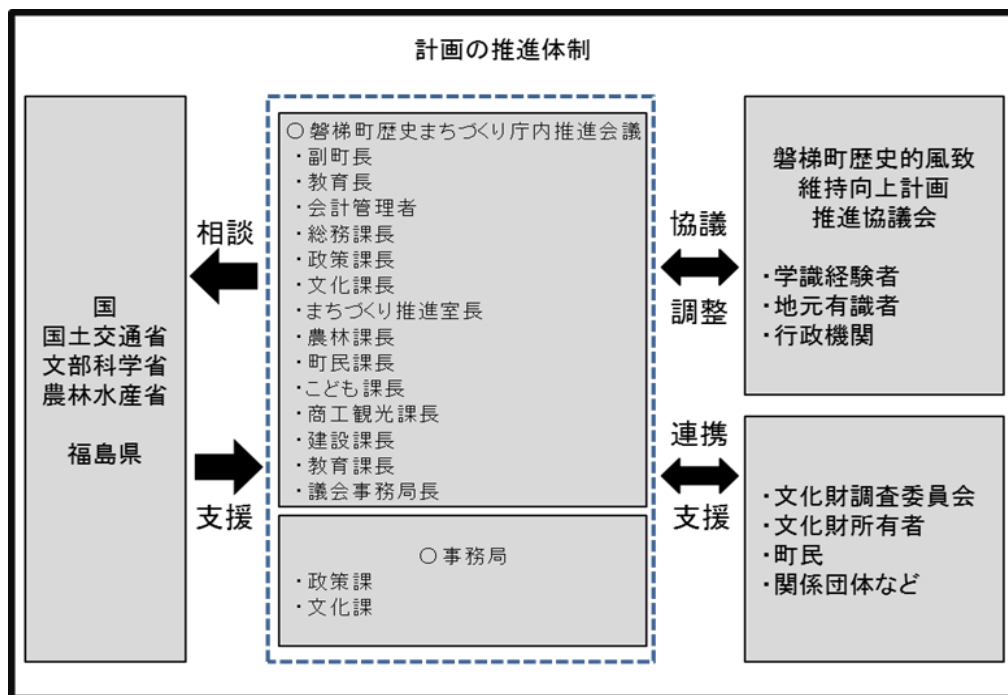
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

町組織改編により、まちづくり推進プロジェクトチームが解散したが、政策課が事務を引き継ぎ、歴史まちづくり計画の事業推進に向け、一層の情報共有と目的の共有化を図り、連携を強化していく。

状況を示す写真や資料等



第68回史跡慧日寺跡調査・保存・整備指導委員会
平成29年12月19日開催



第6回磐梯町歴史的風致維持向上計画推進協議会
平成30年3月28日開催

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
史跡慧日寺跡整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成15年度～平成37年度

支援事業名 町単独事業、国宝重要文化財等保存整備事業

計画に記載している内容

- ・平成15年(2003)度から着手している史跡整備事業の継続
- ・史跡としての案内表示の充実 など

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

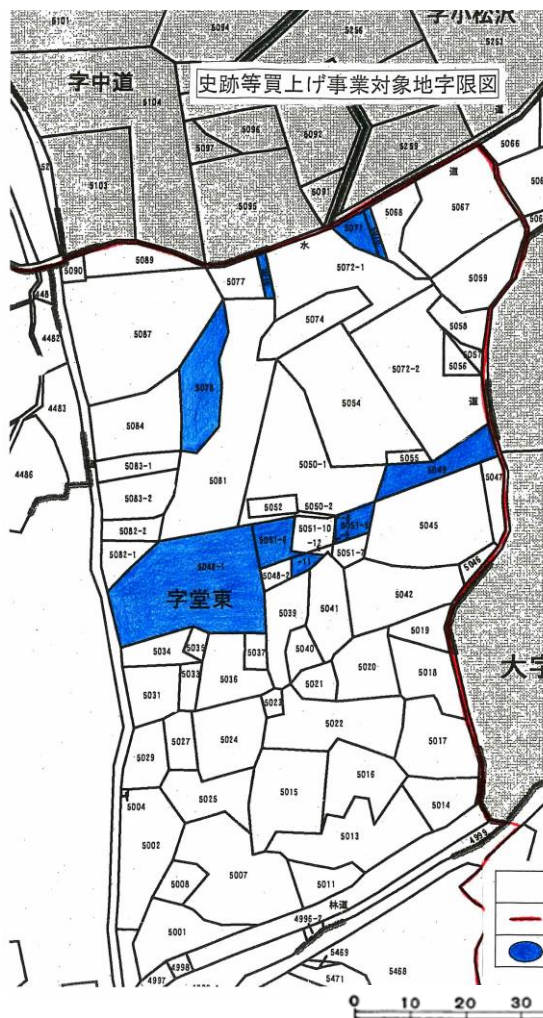
- 指定地の本寺地区のうち、字堂東地内の1,919㎡を公有化
- 整備に向けた史跡慧日寺跡調査・保存・整備指導委員会の開催(平成29年12月)
- 史跡整備に向けた第30次発掘調査の実施(平成29年6月～12月)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



平成29年度 史跡土地買上げ箇所



第30次発掘調査



第30次調査区全景

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
歴史的建造物保存事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度～平成37年度		
支援事業名	集約促進景観・歴史的風致形成推進事業、町単独事業		
計画に記載している内容	歴史的まちなみを確保するために、歴史的風致形成建造物及び付随する塀、石垣などについて、地域の歴史的な技術や手法を踏襲し、歴史的まちなみに調和するよう建物の外観等の修景を行うとともに、改修等に対して支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致形成建造物に指定した建造物の修理等に要する費用の一部を助成し、所有者等に対する支援を実施。 ☒ 歴史的風致形成建造物指定件数:計4件 ☒ 歴史的風致形成建造物 平成28年度修景実施棟数 2棟 ☒ 歴史的風致形成建造物 平成29年度修景実施棟数 1棟(繰越)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	町と所有者の意見の相違や資力等により、事業が執行できなかった箇所もあるので、十分に意見交換を行いながら調整する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			

秋山家住宅(A=202.18㎡):屋根補修、外壁既存仕上げ撤去下見板張り、漆喰塗替え、基礎補修、建具取替



施工前



整備イメージ



秋山家住宅床下調査

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
歴史的文化遺産調査事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～平成37年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	・町内に点在する歴史的価値がある建造物・石垣・水路等、十分に調査されていない歴史的文化遺産の実態を把握し、適切に保全、利活用を推進するため、歴史文化遺産の調査を行う。 ・慧日寺参道及び周辺地域の整備に向けて、まちなみの調査を実施する。 ・実態が把握されていない歴史的建造物等について、所在や建築年代、建築技法等の悉皆調査を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
本寺地区内で公有化を図った旧吉田家住宅における解体調査及び宅地跡地約85㎡の範囲において発掘調査を実施。慧日寺の門前であったことから、旧院坊遺構の有無、また、旧参道沿いであることから、参道や石垣の構築法・年代などかかる資料蓄積を目的に実施。 ○宅地跡試掘調査 幅4.0m×長10m(※遺構検出状況を見ながら部分的に土層観察用深掘り)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



旧吉田家住宅敷地内の住家跡の試掘調査



旧吉田家住宅解体調査

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
まちづくり団体設立・育成支援事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度～平成37年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	慧日寺の歴史を継承し、保存活用を行うまちづくり団体の組織化や育成を図り、保全、利活用に向けた取組みを活性化させるとともに、活動経費の一部について助成金を交付し支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
本寺地区において、地区住民が主体となったまちづくり団体の設立に向けて地元説明会を開催し、問題提起をしながら意識向上を図っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		核家族化の進行等により地域コミュニティが崩れつつあることから担い手の育成に時間を要しており、まちづくり団体を設立することができなかったため、まずは地区住民の歴史まちづくりに対する機運を高める支援を行うこととしている。	
状況を示す写真や資料等			
 本寺地区役員説明会 平成29年4月2日(日)			
 本寺歴史まちなみ懇談会 平成29年6月11日(日)			

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
伝統文化財継承事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度～平成37年度		
支援事業名	地方創生加速化交付金事業、町単独事業		
計画に記載している内容	・祭礼や地域の民俗芸能の活動を促進するため、用具等に対して助成を行う。 ・江戸時代以来途絶えている明神の舞や現在活動を休止している火伏せの火渡りなどの祭礼の再興を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
県指定重要無形民俗文化財の「磐梯神社の舟引き祭りと巫女舞」のうち、巫女舞にかかる囃子・巫女の装束経年劣化に伴い、装束の新調更新にかかる助成事業の申請事務手続き協力を実施。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	経費については保存団体である地元負担が大きい、全県的・全国的に助成・補助事業への採択枠が狭小なため、計画的な実施が困難。		
状況を示す写真や資料等			
    			
更新制作にかかる助成を申請した県指定重要無形民俗文化財「磐梯神社の舟引き祭りと巫女舞」の巫女と囃子の装束			

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
磐梯町景観計画策定事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度～平成30年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	慧日寺跡を含む文化財と磐梯山の自然との一体的な景観形成の方針の確立に向けて、本町独自の景観計画を策定する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
景観計画策定に向けての土壌づくりとして、地区懇談会を開催し住民の歴史まちづくりの気運の醸成を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		景観計画策定に向け地区と協議を行っているが、地区の理解を得られず策定までは至っていない。まずは本寺地区景観形成ガイドラインの運用を開始するにあたり地区と景観まちづくり協定の締結に向けて協議を継続する。	
状況を示す写真や資料等			
			
本寺歴史まちなみ懇談会 平成29年6月11日(日)			

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
歴史的まちなみ整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～平成37年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	歴史的まちなみを確保するために、歴史的風致形成建造物以外の歴史的な建物や塀、石垣などについて、地域の歴史的な技術や手法を踏襲し、歴史的まちなみに調和するよう建物の外観等の修景を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致形成建造物に指定していない建造物の修理等に要する費用の一部を助成し、所有者等に対する支援を実施。 ☐ 補助実施件数:0件 歴史的まちなみに調和するよう町が所有している工作物等の修景を実施。 ☐ カーブミラー修景実施(H28年度、2基、H29年度、2基)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



カーブミラー修景前



カーブミラー修景後

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

平成29年度	
項目	現在の状況
慧日寺門前市整備事業	☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成28年度～平成32年度
支援事業名	集約促進景観・歴史的風致形成推進事業、町単独事業
計画に記載している内容	慧日寺参道沿いの民家を活用し、歴史的景観を象徴するファサードを持つ地域活性化の拠点となる多機能型施設を整備する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
歴史的風致形成建造物に指定した旧吉田家住宅の改修工事を実施(繰越) 土地:磐梯町大字磐梯字本寺上4962番地 A=1774.07㎡ 建物:居宅 木造草葺平屋建 A=195.04㎡(築140年)	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	

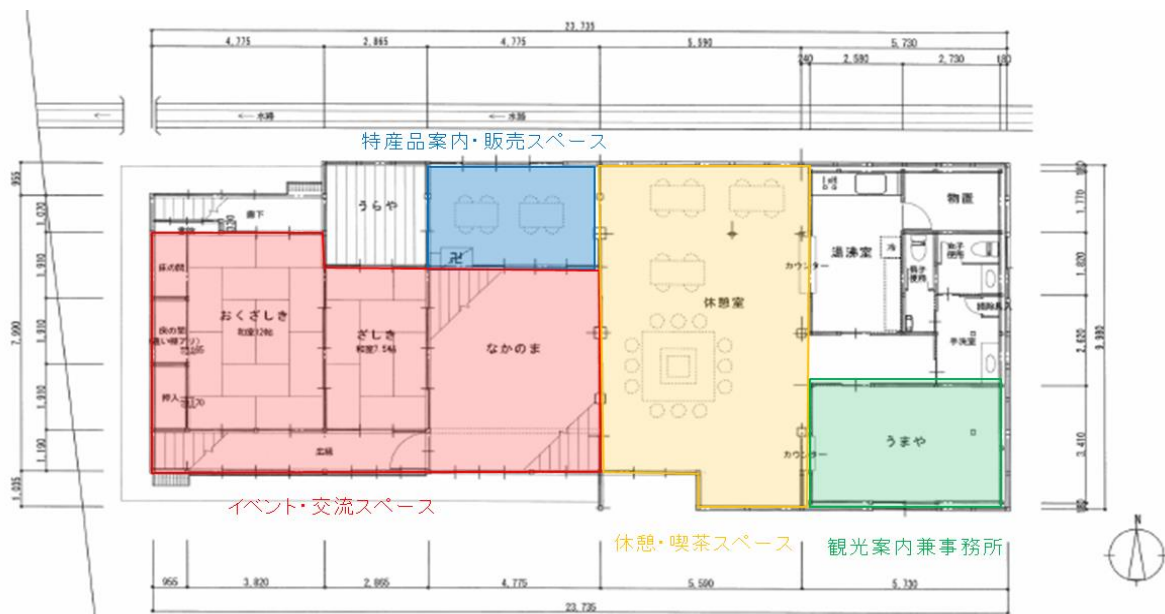
状況を示す写真や資料等



慧日寺参道沿いの空家(H28買取り実施)



内部解体状況



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
花川自然石護岸及び水路改修事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度～平成37年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)、町単独事業		
計画に記載している内容	現在コンクリートで舗装されている本寺地区内を流れる花川の河川改修を実施するとともに参道沿いの水路や生活水路などについて防災にも配慮した上で改修を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的景観を再生するため、本寺地区を流れる普通河川花川の護岸改修整備詳細設計及び3つの橋梁改修設計を実施。また景観に合致した護岸改修工事を発注した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
コンクリートブロックで舗装された花川の護岸 金堂入口橋から上流を望む		改修橋梁 (3橋)および護岸改修工事施工箇所	
			
金堂入口橋 (上流から)		恵日寺入口橋 (上流から)	

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況			
史跡慧日寺跡へのアプローチ整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手			
事業期間	平成29年度～平成31年度					
支援事業名	町単独事業					
計画に記載している内容	史跡慧日寺跡、磐梯山慧日寺資料館、慧日寺参道へのアプローチを整備する。					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
史跡慧日寺跡入口において花いっぱい運動を行い花壇等の整備(L=80m)を行った。						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない						
状況を示す写真や資料等						
						
花いっぱい運動の展開						

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
史跡慧日寺跡活用事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度～平成30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)、地方創生加速化交付金事業、町単独事業		
計画に記載している内容	歴史的な背景に基づき、史跡慧日寺跡金堂内の展示物の制作を行う。また、復元金堂内に説明パネルや、模刻作成工程の解説公開に向けた撮影記録、史跡散策者への音声ガイドシステムを構築する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①史跡慧日寺跡金堂内展示物の制作(～H30まで):史跡慧日寺金堂内展示物公開制作(平成29年10月1日～11月30日) ②復元金堂内の展示物制作作成工程の解説公開に向けた撮影記録の実施 ③音声ガイドシステムの運用(ビーコン設置箇所:6ヶ所 ①中門②金堂③木ざし桜④講堂⑤食堂⑥仏堂、音声ガイダンス受信機端末:17台)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
模刻作成工程の解説公開に向けた撮影記録		史跡慧日寺金堂内展示物公開制作の様子 ＜駅前工房＞	
			
史跡慧日寺金堂内展示物公開制作の様子 ＜駅前工房＞		音声ガイドシステムの運用	

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
歴史的資源周知サイン整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度～平成30年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	町内に点在する遺構や歴史的建造物、文化財等の歴史的資源に触れる機会を増やし、意識を高めるため案内板を整備する。案内板の整備にあたっては、訪日外国人旅行者を呼び込み、外国人向けの受け入れ環境充実を図るために多言語化の案内板等を整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
会津17市町村が連名申請した「会津の三十三観音巡り」の日本遺産認定を踏まえ、日本遺産構成文化財である「薬師堂」「龍宝寺不動堂」「磐梯神社」の多言語(英語)に対応した案内板を設置 【設置基数】平成28年度:2基(※うち歴まち重点区域1基) 平成29年度:3基			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



不動院龍宝寺不動堂



薬師堂



磐梯神社

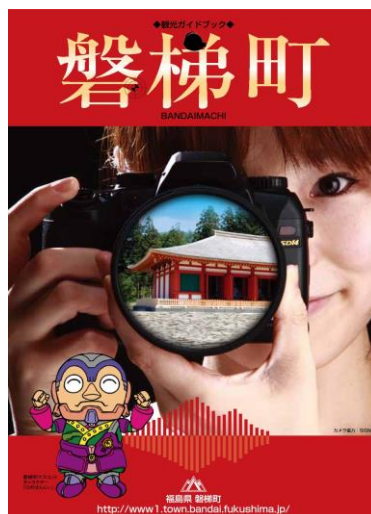
案内板設置状況 計3基

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
磐梯町の文化財を紹介する冊子とマップ作成事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成29年度～平成30年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	磐梯町に存在する様々な文化財に対する理解の深化や文化財に触れるきっかけ、保全・利活用に対する意識形成を促進するツールとして、文化財を紹介する新たな冊子と写真スポットや口コミ等、訪れる人の目線に立った読みたくなるマップを作成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成30年度に史跡慧日寺跡金堂に薬師如来坐像の復元展示物が公開されるにあたり、観光ガイドブックを最新情報へと更新した。 印刷部数:10,000部			
進捗状況 ※計画年度との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



観光ガイドブックを更新

評価軸③-14

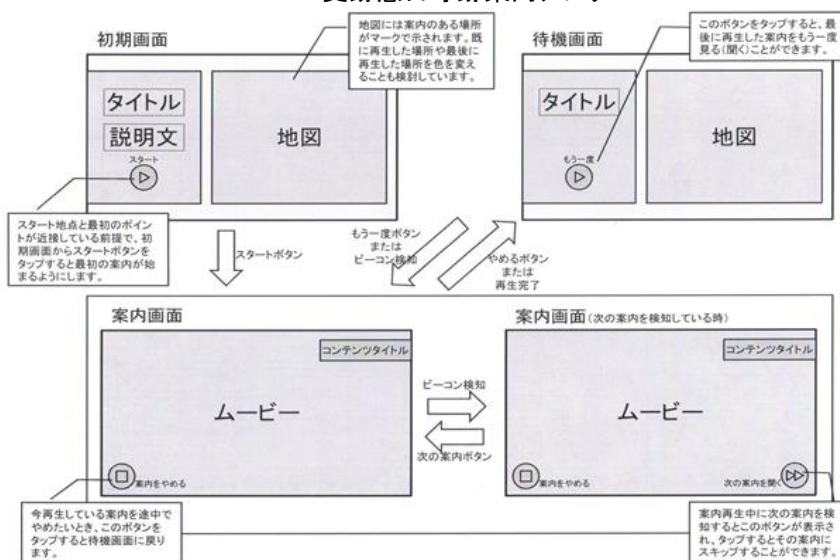
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
文化遺産に関する総合的な情報発信事業		■実施済 □実施中 □未着手	
事業期間	平成29年度～平成30年度		
支援事業名	地方創生加速化交付金事業		
計画に記載している内容	史跡慧日寺跡を重点区域の文化遺産として広く一般に情報を発信するため、史跡慧日寺跡や徳一のDVD制作、スマートフォンを活用した文化遺産を活かした観光アプリ等の開発を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○史跡慧日寺跡案内アプリのコンテンツを作成(ビーコン設置箇所:10ヶ所 ①仁王門②中門石畳③金堂④金堂内⑤講堂・食堂⑥仏堂・五重塔⑦木ざし桜⑧徳一廟⑨資料館内(系譜図・仏具・徳一像)⑩資料館内(絹本着色慧日寺絵図)、iPod touch:1台、iPad mini:10台)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



史跡慧日寺跡案内アプリ



史跡慧日寺跡案内コンテンツアプリの構成

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
歴史を活かしたまちづくり推進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成28年度～平成37年度

支援事業名

計画に記載している内容 歴史まちづくりに関する意識を高めるため、歴史まちづくりやまちなみ、景観形成について講演会や勉強会、研修、ワークショップを開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史を活かしたまちづくりを進めるため、まちづくり講演会を開催した。その他ワークショップで作成した「本寺魅力マップ」を本寺地区住民へ公開した。

- ①慧日寺の薬師信仰に基づく薬草の里づくりを進めるため、生涯学習まちづくり講演会を開催(参加者数:約50名)
 ②町内の地域資源を再発見するため地域資源再発見事業(歴史編)として史跡慧日寺地内を巡った(参加者数:17名)
 ③磐梯町の無限の可能性を発見するため「磐梯町観光まちづくり講演会」を開催(参加者数:のべ45名)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- ☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



生涯学習まちづくり講演会
平成29年11月3日(金)
参加者:50名



地域資源再発見事業(歴史編)
平成29年11月11日(土)
参加者:17名



評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
歴史的風致紹介ガイド育成事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～平成31年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	史跡慧日寺跡等を訪れた観光客等に対して、会津仏教文化の拠点として存在している磐梯町の歴史と魅力を的確に知らせることができるようにするため、地域の担い手となるガイドを育成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
磐梯山ジオパーク協議会によるガイド研修実施 磐梯町エリア研修 実施回数3回 参加者 のべ32名			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



磐梯山ジオパーク協議会によるガイド研修

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

平成29年度	
項目	現在の状況
広域連携推進事業	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度～平成30年度
支援事業名	町単独事業
計画に記載している内容	仏都会津として豊富な歴史的・文化的資源を擁する周辺地域との連携を推進する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
史跡慧日寺跡を活用した福島県・極上の会津プロジェクト協議会の交流事業として実施 ◆花の王国ふくしま キビタンフラワースタンプラリー2017:平成29年3月4日～9月24日 応募用紙送付者総勢:14,551名 ◆リアル宝探しイベントin福島「コードF-7」 磐梯町エリア:平成29年4月21日～9月24日 参加者:7,430名 ◆手塚治虫キャラクタースタンプラリー 平成29年7月1日～9月30日 応募用紙送付者総勢:3,255名 ◆磐梯山周辺観光誘客事業の実施(3町村連携) ・磐梯山周辺桜めぐりツアー 4月25日 参加者:38組82名 ・林家たい平と行く 会津磐梯山周辺を巡る旅2017 5月26日～28日 参加者:36組79名	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



キビタンフラワースタンプラリー2017



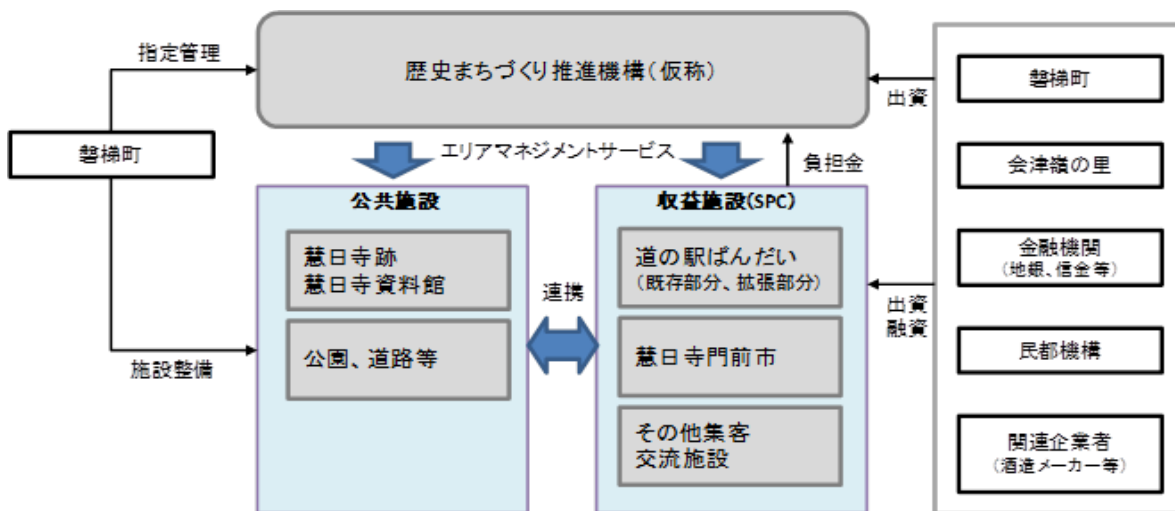
手塚治虫キャラクタースタンプラリー



極上の会津プロジェクト協議会パンフレット

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
歴史まちづくり推進機構の設立			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～平成35年度		
支援事業名			
計画に記載している内容	主要集客交流施設である史跡慧日寺跡・磐梯山慧日寺資料館、道の駅ばんだい周辺地域で、官民連携によるエリアマネジメントを実施する地区の一体的な管理運営組織として、「歴史まちづくり推進機構(仮称)」をまちづくり会社方式で設立する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史まちづくり推進機構(仮設)の設立に向け検討を行っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	地域住民が主体となった組織として機能する必要があることから、まずは地域のリーダーとなる担い手の育成をはじめ、住民が主体となった活動を行政として支援できる体制づくりが必要。		
状況を示す写真や資料等			
 歴史まちづくり推進機構スキーム図 この図は、歴史まちづくり推進機構(仮称)の運営スキームを示しています。左側には「磐梯町」があり、指定管理と施設整備の役割を担っています。中央には「歴史まちづくり推進機構(仮称)」があり、エリアマネジメントサービスを提供しています。このサービスは「公共施設」(慧日寺跡、慧日寺資料館、公園、道路等)と「収益施設(SPC)」(道の駅ばんだい(既存部分、拡張部分)、慧日寺門前市、その他集客交流施設)の両方に提供されます。公共施設と収益施設の間には「連携」が示されています。右側には「出資」を行う関係者がリストアップされています: 磐梯町、会津嶺の里、金融機関(地銀、信金等)、民都機構、関連企業者(酒造メーカー等)。また、収益施設からは「負担金」が推進機構へ支払われます。			

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
磐梯町歴史文化読本作成事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～平成30年度		
支援事業名			
計画に記載している内容	磐梯町の歴史や伝統の理解と生まれ育った郷土愛を育むため、副読本を作成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
作成に向けた関係機関との協議			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	前回の副読本作成からは20年を経ており、内容の見直しをどの程度まで実施するかが課題。(改訂増補とするか、内容を刷新するか。また、その場合の編さん組織をどのようにするかなど)		
状況を示す写真や資料等			
 副読本『わたしたちの郷土』 平成5年(1993)作成 平成10年改訂			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の修復・整備に関する取組み			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財の適切な維持管理に向けて、指定文化財の現状把握に努めるとともに、損傷具合等により優先順位を決めて修復・整備を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
県指定重要無形民俗文化財の「磐梯神社の舟引き祭りと巫女舞」のうち、巫女舞にかかる囃子・巫女の装束経年劣化に伴い、装束の新調更新にかかる助成事業の事務手続き補助協力を実施。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		経費については保存団体である地元負担が大きい、全県的・全国的に助成・補助事業への採択枠が狭小なため、計画的な実施が困難。	
状況を示す写真や資料等			



県指定重要無形民俗文化財「磐梯神社の舟引き祭りと巫女舞」
巫女・囃子の装束

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組み		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	磐梯山慧日寺資料館について、最新の映像機能等を用いて、往時の慧日寺周辺の雰囲気や、会津仏教文化を楽しみながら学べる施設として機能更新を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○会津仏教文化を紹介する展示として、三十三観音信仰に関する企画展示を開催。映像資料と併せて、さまざまな歴史資料を展示公開。 ○町内に工房を開設し、慧日寺跡金堂内展示物制作の一部を一般公開。 ○磐梯町公衆無線LAN「BANDAI Free Wi-Fi」の運用開始(史跡慧日寺跡休憩施設・史跡慧日寺跡・磐梯山慧日寺資料館)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



磐梯山慧日寺資料館において開催した
会津地方の三十三観音信仰に関する企画展示



BANDAI Free Wi-Fi ロゴマーク



金堂内展示物制作の一部を地元で一般公開するために新設した工房

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の周辺環境の保全に関する取組み			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	空間の基盤を成す磐梯山麓の自然環境を確実に保全し、既存の良好な史跡景観を保全を推進するとともに、歴史的景観の復元に向けた魅力ある空間形成を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
史跡慧日寺跡指定範囲内の適切な草刈り等保全作業(約30,300㎡)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 史跡慧日寺跡指定地内除草状況(大字磐梯字明神田地内)  史跡慧日寺跡指定地内除草作業状況(大字磐梯字戒壇地内)			

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
文化財の防災に関する取組み		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	文化財を火災や地震等の災害から守り、後世に正しく引き継ぐために、定期的な見回りや火の後始末の確認などの日常管理の徹底について啓発するなど、町民の防火、防災意識の高揚を図り、地域ぐるみの防災体制の整備に努めるとともに、文化財の所有者に対しては、防災に係る周知と防災教育の取り組みを通して日常の防災意識の向上を促進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○猪苗代消防署磐梯出張所・磐梯町消防団及び文化財建造物管理者と連携し、史跡慧日寺跡地内で消防訓練を実施 指定文化財建造物の火災発生対応訓練、消防団による消火訓練の実施(仁王門) 防火査察の実施(恵日寺、龍宝寺、仁王門) 町指定文化財自動火災報知機設備点検にかかる町補助 (恵日寺、龍宝寺、薬師堂)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



町消防団による消火放水訓練(仁王門)



消防署員による文化財建造物の防火査察(仁王門)

文化財建造物自動火災報知機設備点検
(恵日寺山門)

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の保存及び活用の普及・啓発に関する取組み			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財に親しみを持ってもらうため、復元された金堂・中門を活用したイベントの活性化や、発掘体験、写生会など学校教育・生涯学習の場としての活用を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
磐梯山慧日寺資料館歴史講座 計3回 のべ96名参加 磐梯中学校郷土学習 1～3年生 100名 町文化財保存会研修 2回(仙台市博物館、柳津町久保田三十三観音 ほか)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



歴史講座 ギャラリートーク



磐梯中学校郷土学習

評価軸④-6

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
埋蔵文化財の取扱いに関する取組み			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	史跡の発掘を推進するとともに、発掘体験の場の提供等を通じて埋蔵文化財の重要性の啓発を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○史跡指定地内において、史跡整備事業に伴い字堂東地区の約1,600㎡を対象に発掘調査を実施した。 ○本寺集落内において、宅地公有化に伴い跡地約85㎡の発掘調査を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



史跡指定地内の発掘調査



本寺地区集落内宅地跡地の発掘調査

評価軸④-7

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
住民、NPO等各種団体の状況及び今後の体制整備の取組み		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	文化財の保存・活用に向けた取り組みの推進やNPOなどの団体設立について助言・指導を進めていき、活動に対する支援を行う等、住民やこれらの団体等と連携して文化財の保存・活用に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
舟引き祭り実行委員会主催の「県指定文化財 舟引き祭りと巫女舞」挙行の際の活動に対する支援を実施。(巫女役児童、囃子楽人の会場への送迎等)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



巫女舞



舟引き祭り

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

主な報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	掲載紙等
仏都会津の中心再生 風情感じる発祥の地に	平成29年5月15日	福島民友
磐梯徳一藝術祭 薬師如来坐像 制作を公開	平成29年10月20日	福島民報・福島民友
慧日寺再発掘へ 磐梯 中心伽藍の講堂復元	平成29年12月20日	福島民報・福島民友
薬師如来坐像会津の宝に 知事が復元状況視察 製作技法に理解深める 他	平成30年3月14日	福島民報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づき実施した「歴史的建造物保存事業」、「史跡慧日寺跡活用事業」における史跡慧日寺跡金堂内展示物の制作、「史跡慧日寺跡整備事業」の実施状況や歴まち認定後の慧日寺周辺の町並み景観整備等が新聞に掲載され、町内外へのアピールとともに歴史まちづくりに対する関心が高まった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

●史跡慧日寺跡に関する記事(2件)

- ・史跡慧日寺跡の木ざし桜 種もみまく時期に開花(平成29年4月28日 福島民友)
- ・慧日寺再発掘へ 磐梯 中心伽藍の講堂復元(平成29年12月20日 福島民報・福島民友)

●祭礼・イベントに関する記事(7件)

- ・春の雅楽悠久の響き 磐梯の史跡慧日寺 会津天雅会が演奏(平成29年5月30日 福島民報)
- ・幻想的な光 慧日寺包む 今日までライトアップ 彼岸獅子を初披露(平成29年6月4日 福島民報・福島民友)
- ・白馬に連なり山頂目指す 厩嶽山の祭りと山開き(平成29年6月20日 福島民報)
- ・薬師如来坐像の公開制作 あす「徳一藝術祭」(平成29年9月30日 福島民報・福島民友)
- ・磐梯徳一藝術祭 薬師如来坐像 制作を公開(平成29年10月2日 福島民報・福島民友)
- ・「薬師如来坐像」7月24日披露式 磐梯の慧日寺跡金堂(平成30年1月11日 福島民報・福島民友)
- ・会津仏教文化の魅力 日本遺産認定でシンボ(平成30年2月9日 福島民報)
- ・薬師如来坐像会津の宝に 知事が復元状況視察 製作技法に理解深める(平成30年3月14日 福島民報)
- ・磐梯の舟引き祭り 巫女舞など披露(平成30年3月23日 福島民報)

●歴史的まちなみ整備に関する記事(1件)

- ・仏都会津の中心再生 風情感じる発祥の地に(平成29年5月15日 福島民友)

●薬師信仰に基づく薬草の里づくりに関する記事(4件)

- ・薬草の里づくり推進 秋にも3種類 試験栽培(平成29年4月11日 福島民報)
- ・試験栽培の10品種決定 磐梯・薬草の里 今秋にも6次化商品(平成29年6月23日 福島民報)
- ・町づくりの特効薬に 6次化商品開発進む(平成29年7月19日 福島民報)
- ・薬草のまちづくりに(平成29年10月4日 福島民報)



平成29年5月15日 福島民友



平成30年3月14日 福島民報



項目		評価対象年度	平成29年度
史跡慧日寺跡を活用したイベントの実施			
計画に記載している内容	文化財に親しみを持ってもらうため、復元された金堂・中門を活用したイベントの活性化や、発掘体験、写生会など学校教育・生涯学習の場としての活用を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
・史跡慧日寺跡金堂「春の雅楽」 平成29年5月27日(土) 来場者数426名 ・史跡慧日寺跡ライトアップ「月待ちの灯り」 平成29年6月3日(土)～4日(日) 総来場者数477名 ・史跡慧日寺跡「ともし火と仏教声楽の夕べ」 平成29年8月20日(日) 来場者数451名 ・磐梯とくいつ芸術祭 平成29年10月1日(日)～11月30日(木) 来場者数6,147名 ・「秋の門前市・演奏会」 平成29年10月22日(日) 来場者数145名			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
     			
史跡慧日寺跡を活用したイベント			

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	平成29年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 第6回磐梯町歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時: 平成30年3月28日(水) 午前9時30分～11時50分	
(コメントの概要)	
○歴史まちづくり推進機構についての進捗状況は。 ○旧吉田家住宅は多機能型施設で整備を進めているようだが、住民参加型の地域施設としてのニーズはあるのか。住民が日常的に集い、談話や催しを開催するなど。 ○旧吉田家住宅の活用方法については今後「保存・管理・活用計画」を策定することだが、法定協議会委員の方々にも専門的な知見から計画を策定するにあたりご助言いただきたい。また、早期に管理計画を策定することにより、現場の進捗や今後の利活用を検討していくうえでも重要となる。この地区は冬季間の積雪も多く、改修工事への影響も懸念されることから早期策定が求められる。 ○磐梯町歴史文化読本作成事業で副読本作成とあるが、前回の作成から20年が経過している。内容を改定するのか刷新するのか。また、対象年齢は。さらには、地域の方に広く歴史的風致維持向上に取り組んでいることを示すPR手段はあるのか。 ○資料に「会津三十三観音巡り」について、多言語化や案内看板の設置をした。とあるが、これは磐梯町に限った取り組みなのか、会津地域全体の取り組みなのか。 ○史跡慧日寺跡案内アプリとして観光案内用の端末を整備しているようだが、利用頻度について伺いたい。	
(今後の対応方針)	
○現在、町で改修を行っている歴史的形成建造物(旧吉田家住宅)は、多機能型施設として整備している。今後はその施設において、官民連携によるエリアマネジメントを実施する地区の一体的な管理運営組織として検討しているが、まだ機運が高まっていない。今後も関係機関と協議を重ね検討していきたい。 ○建物西側の「ざしき」については、建築当時のまま手を加えずに利活用する。地域の方や文化団体等に使ってもらう。また、慧日寺を訪れた方に講座を開いたりするなど地域のコミュニティとしても期待されている。 ○旧吉田家住宅の管理・活用計画につきましては、委員の方々よりご助言や考察をいただきながら、一般公開までに整備したいと考えている。来場者へのパンフレットなども作成する予定であり、そちらにも情報を盛り込む予定である。 ○副読本につきましては小学生を対象に当時作成しました。現在では中学生向けに発掘体験や歴史を学ぶ授業を取り入れている経過もあります。教育委員会の管轄となるため、内容見直しも含め協議検討したい。なお、計画認定時、町内全戸に歴史的風致維持向上計画(概要版)を配布しております。 ○全会津、17市町村で構成される協議会において設置した。評価シートには、当町分のみ計上しました。 ○タブレット端末の貸し出し状況としては、H29年度は100件程度であった。今までは職員が案内をしており個人差も出ていたが解消された。また、自分のペースで周遊できるのも大きなメリットと考える。	